



## 全体会 講演

**江川紹子さん**

「大人と子供のための  
夢の探し方」



ジャーナリストとして、高校生、大学生、若い社会人を取材してきた中で振り返り、子どもにとっての「夢」の話をしてみたい。

プロ野球選手を目指したナカキヤ・ジュンヤさん。キャッチャーとして臨んだ県大会で目の前で松井に打たれ敗退。糸井曲折を経てダイエーホ

ークス(現ソフトバンク)にスカウトされ入団するも5年目に戦力外通告を突きつけられる。

この時、球団は彼に「選手としての契約はできないが、スタッフとして契約したい。」と告げた。

こうして2軍のブルベンキャッチャーカラ再スタートした彼は、選手の気持ちがわかるスタッフとして選手や監督の信頼を得て2軍コーチに昇格。優秀スタッフ賞を二十代で受賞するに至った。

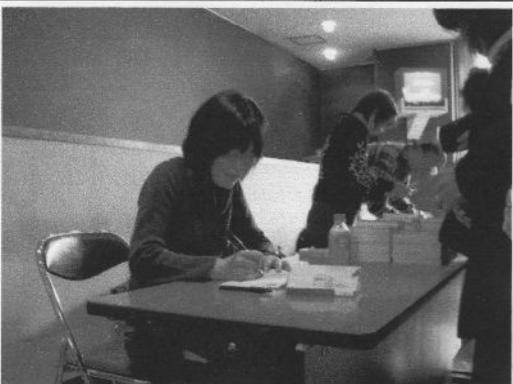
選手時代に比べ収入や華やかさが格段にさがつた今を複雑に思わないかと聞いたが、「松井に打たれた時、自分に野球のセンスが無いことに気がついていた。努力で補おうとしたが叶わなかつた。その代わり自分には裏方としての才能があることを見つけた。」と答えた。

昨年、惜しくもコーチ総入れ替えで退団した彼は今、北陸地方の新球団でコーチ兼営業としてチームづくりにいきいきと奔走している。

彼にとって「自分の良いところを認めることができた。」ことが成功につながっている。

## 分科会 感想

### ●第4分科会



夢や生き甲斐、自分の喜び・希望は、今みつからないかも知れない。

いつになつたら出会うのかわからぬかも知れない。

大人になりたくない……夢や希望が感じられない……と言う子どもがいる。

子どもが夢を持てるためには、私たち大人はどうしたら良いのか?

私たち大人が子どもたちの「希望の源」となるように、私たち自身が日々いきいきとしていくことが求められているのではないか?

### ●第6分科会

毎日自分の子も経験している

実際に不登校の小2を持つ母(バツイチ)です。学校からの電話、休みの連絡、中部療育センターでかかる小児科医に指示されるのも負担を感じていました。本当に方向性も見えず自己肯定感も持てない状況です。先生のお話から何か見えてくれれば良いなと思っています。(保護者)

かもしれない出来事を話して  
もらいとても参考になりました。  
た。指導員さんがいろいろ考  
えてくれてることに更に感  
謝の気持ちでいっぱいです。

(保護者)

### ● 第7分科会

他のクラブの様子、父母会に  
対しての思い、たくさん意見  
を見聞くことができ参加して  
良かった。各クラブでかか  
る心配事なども自分たちのク  
ラブ運営に参考になりました。

(矢向こまどり・保護者・須藤)



### ● 第9分科会

ことができ、良かったですこ  
どもに今の社会の危険さを教  
えるには、なかなか難しいな  
あと実感しています(指導員)

### ● 第8分科会

平塚の「レインマン広め隊」  
の皆さんの発表がとてもわ  
かりやすく、良かったです。自  
閉症の子は、いつも不安と混  
乱の中にいる→だからわかり  
やすく、優しく冷静に対応し  
ていけば良い事が一番わかっ  
た。(指導員)

### ● 第10分科会

血液、体中流れまくってます。

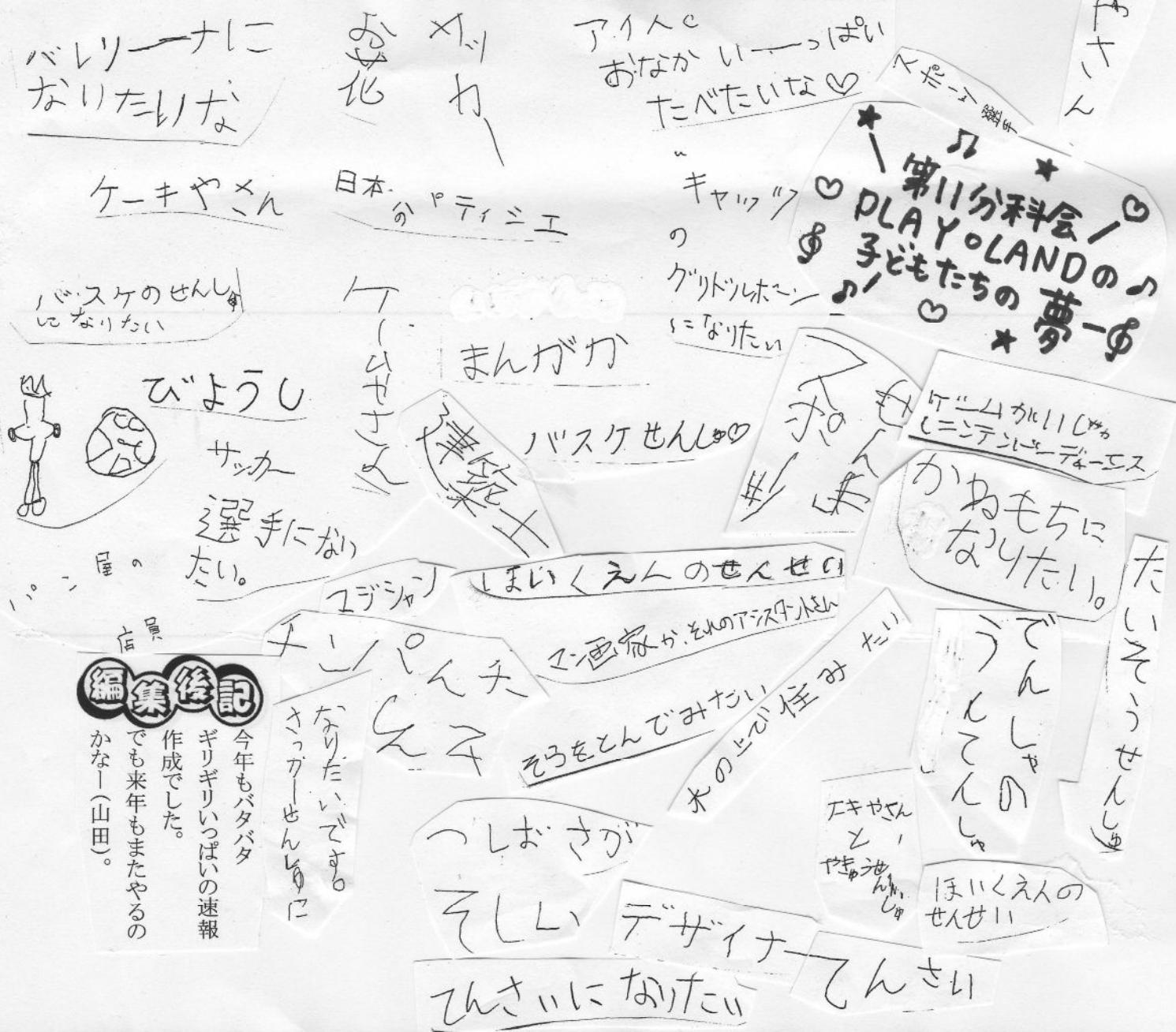
(保護者)

体がノビノビとつても気持ち  
がいいです(保護者)

びなど、知識としては理解し  
ていましたが、普段の保育の  
中ですっかり忘れていました。  
いつでもなるべくおだやかな  
対応を心がけようよ、再確認  
しました。(指導員)

### ● 第11分科会

PLAY LAND の  
子どもたちの夢



### 編集後記

今年もバタバタ  
ギリギリいっぱいの速報  
かなー(山田)。  
でも来年もまたやるの